



令和3年8月7日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

豊川市平和祈念式典を開催しました

本日、8月7日午前10時30分から、市文化会館において豊川市平和祈念式典を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、関係者だけで規模を縮小しての開催となりましたが、式典では、市議会議長式辞、市長平和宣言、ご来賓の挨拶、金屋中学校の生徒さんによる「平和へ向けての願いの発表」が厳かな雰囲気の中、滞りなく行われ、112人の参加をいただきました。

また、一般の方を対象とした式典終了後から午後1時までの自由献花には55の方が献花されました。

市長の平和宣言については別紙のとおりです。

【お問い合わせ先】

豊川市役所 企画部 秘書課：星野・牧野

TEL 0533-89-2120 Eメール hisho@city.toyokawa.lg.jp

平和宣言

本日、豊川市平和祈念式典を挙行するにあたり、ご来賓の皆様はじめ、ご遺族の皆様、豊川海軍工廠関係者にご臨席を賜りましたことを、心からお礼申し上げます。また、昨年引き続き新型コロナウイルス感染症への対策として、規模を縮小しての開催となりましたことにつきまして、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

76年前の昭和20年8月7日、澄みわたる快晴の下、私たちのまち豊川市は、B29爆撃機の激しい空襲を受け、豊川海軍工廠は、一瞬にして廃墟となり、動員学徒や女子挺身隊員を始め、2,500名以上の尊い命が奪われました。

身をもって戦争の悲惨さを体験した本市は被爆50周年を迎えた平成7年8月7日に「平和都市宣言」を行いました。以降、毎年、平和祈念式典を執り行い、戦争により引き起こされた悲しい歴史を心に刻み、世界の恒久平和を願ってまいりました。

今を生きている私たちの使命は、歴史上かつてないほど多くの犠牲者を出した戦争体験を決して風化させず、戦争による悲劇と平和の尊さを未来に語り継いで

いくことです。

本市は、平和の尊さを伝えるため工廠跡地に、「豊川海軍工廠平和公園」を開園しました。多くの方に訪れていただき、この地で起こった出来事を知り、平和への思いを改めて考える機会としていただければと思います。平和とは「与えられる」ものではなく、自分事として共に考え、行動することで得られるものです。今日の平和が、次の世代に引継がれていくことを切に心から願っております。

本日ここに、戦禍の犠牲となられた方々の御霊に心から哀悼の誠を捧げるとともに、将来を担う子どもたちの明るい未来に向けて、戦争のない世界、核兵器のない世界の実現を目指し、恒久平和に向けて全力を尽くすことをお誓い申し上げます。

令和三年八月七日

豊川市長 竹本 幸夫